学校番号	T3015

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎（通信）	単位数	２単位	年次	2～3 年次
使用教科書	「高校生物基礎　visual」　実教出版						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんはなぜ生物を勉強すると思いますか？これから学習する内容は、皆さんが生きていくことと深く関係しています。例えば健康。私たちが健康でいられるのも、からだの中にある様々な働きのおかげです。正しく理解して適切な方法で病気を予防したり、治療を受けたりできるように、学習を進めていきましょう。

2　学習の到達目標

１．生物や生物現象に関わり,生物や生物現象に興味を持ち、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身につける。
２．生物や生物現象について、自分事として考え、根拠をもって表現できる。
３．自ら科学的に探究しようという態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章生物の特徴	1節 生物の多様性と共通性 2節 細胞とエネルギー	a: 原核細胞と真核細胞の違いについて，それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 b: 細胞が生物の基本構造であることを，生物学的な視点から考察することができる。 c: 原核細胞と真核細胞について，その細胞に含まれる細胞小器官を基に,違いを理解しようとする。	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント
	第2章遺伝子とその働き	1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成	a: DNA が二重らせん構造であること，そのため，2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 b: DNA の複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 c: DNA の塩基配列の情報に基づいて，タンパク質が合成されることを理解しようとする。	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント
後期	第3章ヒトのからだの調節	1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節　免疫	a: 体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 b: 病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し，表現することができる。 c: 体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだし，理解しようとする	観察 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 プリント

	第4章生物の多様性と生態系	1節 植生とその成り立ち 2節 植生とバイオーム 3節　生態系と生物の多様性 4節　生態系のバランスと保全	a: 陸上には，森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ,植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 b: 世界の環境問題について，情報を調査し，自分の考えをまとめ，表現することができる。 c: 生態系のバランスや，生態系を保全することが重要であることを理解しようと	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント 単元テスト 定期テスト	観察 実験 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度